



清掃センター建設に向けて

現在、木津川市の燃やすごみは、西部塵埃処理組合 打越台環境センター（昭和37年に木津町、山城町および精華町で設置された一部事務組合）および民間処理業者で焼却しています。打越台環境センターは、昭和55年から稼動しており、約30年が経過しています。そのため、施設の老朽化や人口増に伴うごみ量の増加などのため、打越台環境センターだけでは処理しきれない状況にあります。

そこで、木津川市と精華町の燃やすごみを焼却処理するため、平成18年に当時の木津町、山城町および精華町での合意事項などに基づき、木津川市に清掃センターを建設することが課題となっています。

このたび、木津川市では、まち美化推進課に清掃センター推進室を設置し、清掃センター建設に向け、準備を進めています。

建設には、みなさんのご理解とご協力が必要です。そこで、今月号から清掃センターの情報などを連載します。

今月号では、木津川市の「燃やすごみ」の現状を紹介します。

燃やすごみの減量にご協力を

木津川市における平成20年度の「燃やすごみ」の量は、11,085 tで、一人当たり約441g/日（平成21年3月末人口68,922人）になります。たくさんのごみを焼却することは、焼却施設に負担をかけるだけでなく、二酸化炭素を多く排出し、地球温暖化の原因ともなります。

また、年々比率は減少していますが、平成19年度における「燃やすごみ」の約46%が紙ごみです。紙類はリサイクルできます。地域の住民団体が取り組む古紙類の集団回収に補助金も出していますので、ぜひご協力ください。

燃やすごみ収集にかかる経費は？

平成20年度燃やすごみ収集及び処理費用

約5億1,864万円

平成20年度燃やすごみ収集量

約11,085t

一人当たりの年間処理費用(燃やすごみのみ)

約7,525円

わたしたち一人ひとりが、 ごみ減量のためにできること

- ① 不要なレジ袋は断る（マイバッグを持参しましょう）
- ② 食事は残さず食べる（残飯は燃やすごみになります）
- ③ 無駄な買い物はしない
- ④ 直せる故障は、直して繰り返し使う
- ⑤ 詰め替えできる商品を購入する
- ⑥ 生ごみは充分に水切りする

古紙類の集団回収 を支援しています

集団回収とは・・・

自治会・子供会・老人会やボランティア団体などが、自主的に古紙類を回収して、回収業者に引き渡すリサイクル活動です。現在142団体が登録されています。



集団回収団体
団体が決めた収集日・収集場所に各家庭から資源を出します。
(年2回以上の実施)

資源の引渡し

計量証明書



回収業者
団体が契約した回収業者が、資源を回収し、計量します。

実績報告

補助金支払い

木津川市

※実績に応じて1kgあたり5円（平成20年度実績）の補助金を団体に支払います。

「古紙類の集団回収」のメリット

- ・ごみの減量化やリサイクルに効果があります。
- ・集団回収を通じて、地域の交流が図れます。
- ・質の良い資源の回収ができます。

問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室
☎75-1215 Fax72-3900
E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp